

## 北上川下流河川事務所 第3次補正予算概要

北上川下流河川事務所の第3次補正予算については、東日本大震災を教訓として、災害に強い社会基盤整備など安全・安心の確保に向けた取り組みを緊急に進めるために必要な経費として、約38億円が計上されました。  
※公共土木施設等における災害復旧事業等については、災害申請中のため計上していない。  
※河川維持、河川施設更新に係る予算については、計上していない。

### 1. 河川津波対策等（鳴瀬川：約955百万円、北上川：約2,153百万円）

地盤沈下により浸水被害が頻発している河口部無堤区間の低水護岸（浸透防止対策）に着手するなど、河川整備の促進を図ります。  
また、堤防や水門等の基礎地盤が脆弱な箇所において液状化対策等を実施するほか、水門設備等の自動化・遠隔化の拡充にも取り組みます。

### 2. 大規模災害に備えた河川管理施設の機能確保等（鳴瀬川：約655百万円）

大規模出水時に浸水する恐れのある師山排水機場（大崎市）等にて、施設の耐水化等を実施します。

※上記金額は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載。

北上川下流河川事務所記者発表についてはホームページでご覧になれます。

発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

#### 問い合わせ先

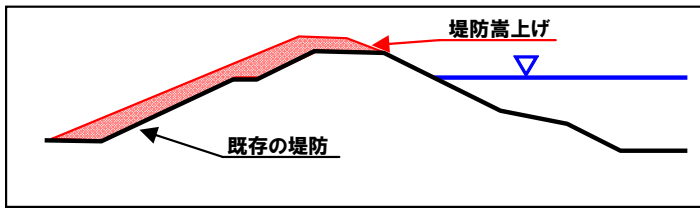
国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所  
宮城県石巻市蛇田字新下沼80 電話：0225-95-0194（代表）  
技術副所長（事業） 庄司 正彦 （内線204）  
技術副所長（企画） 佐藤 伸吾 （内線205）

# 《東北地方整備局記者発表資料より抜粋》

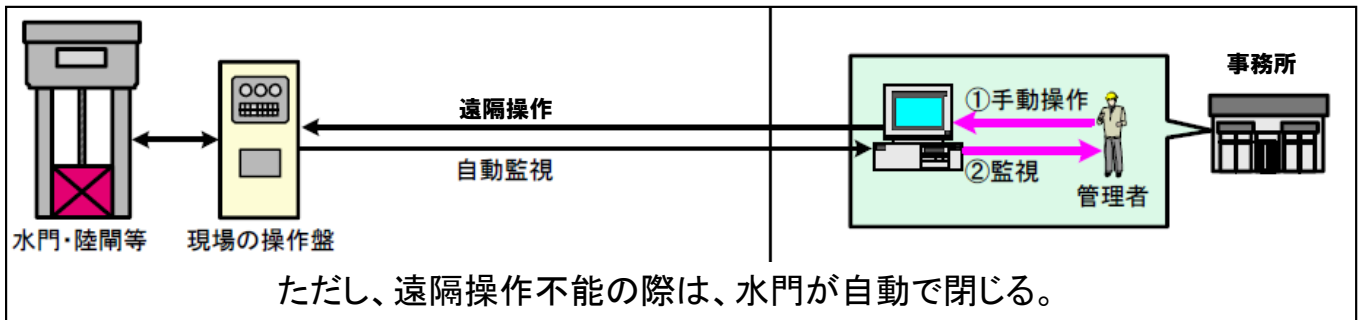
## 【各県共通】河川津波対策等

- ・津波による甚大な被害や、液状化等による堤防・水門等の被災を踏まえ、堤防の嵩上げ、水門等の自動化・遠隔操作化、堤防・水門等の耐震・液状化対策等を実施します。

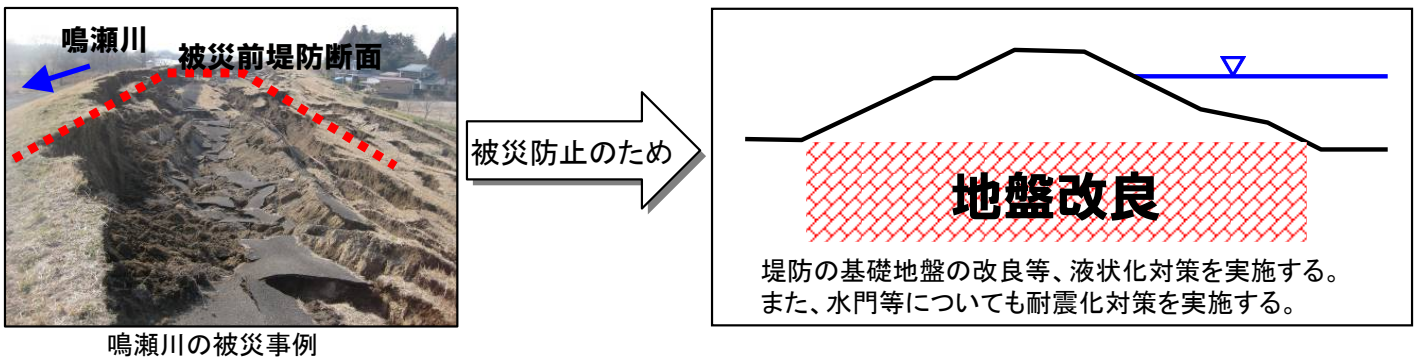
### 堤防の嵩上げのイメージ



### 水門等の自動化・遠隔操作化のイメージ



### 堤防・水門等の耐震・液状化対策のイメージ



### 事業の整備効果

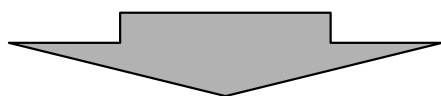
- ・事業の実施により、津波や液状化等による被災の防止、軽減を図ります。
- ・水門等の自動化・遠隔操作化により、緊急時でも安全な操作が可能となります。

## 《東北地方整備局記者発表資料より抜粋》

### 大規模災害に備えた河川管理施設の機能確保等

- ・大規模な津波や洪水等の発生時においても、重要な河川管理施設の機能を適切に発揮させるため、施設の耐水化、予備電源確保等を実施します。

#### 排水ポンプ場の水没等による排水機能の停止



#### 防水扉の設置



#### 排水ポンプ場の操作板の嵩上げ



#### 事業の整備効果

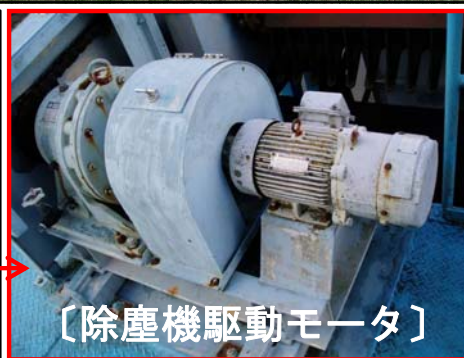
- ・大規模な津波や洪水等の発生時においても重要な河川管理施設の機能を適切に発揮することが可能となり、被害を防止します。

# 師山排水機場等の耐水化対策



## 【地形特性】

- ・堤防決壊などの大規模な洪水はん濫被害が発生した場合は、師山排水機場付近に、はん濫した河川の水が集中する地形
- ・早期のはん濫水排除が必要



水没した場合  
駆動できなくなる

## 【整備内容】

堤防決壊などの大規模な洪水はん濫被害が発生した場合でも、はん濫水排除のための機能を適切に発揮するために各種対策を実施します。  
例) 除塵機駆動モーターの嵩上げ、操作盤の嵩上げ、燃料タンクの固定 等